

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	スリール		
○保護者評価実施期間	2024年11月20日		～ 2024年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用される方の事を考えて建築した建物で支援を行っている為、過ごしやすい、支援も行いやすいようになっている。	個別の支援に力をいれており、個々に合わせた学習支援、作業、生活力向上のための支援を行っている。それぞれがモチベーション高く取り組めるよう、好きなキャラクターのものを用意するなど工夫している	個々に合わせた支援の更なる充実を図るため、ニーズの把握を適切に行っていく。
2	小規模、少人数での運営の為、情報の共有が回りやすく支援の統一がしやすい。	社会性・協調性など集団の場、公共の場において適切な行動がとれるよう日頃から支援を行っている (マスクを正しく着用する・食事の際のマナー 地域での買い物学習等)	タブレット端末やPCを使用する機会が増えていくため、学習の機会を増やし正しく活用できるように支援を行っていく
3	就労支援施設との多機能型の為、卒業後も環境を変えることなく利用していただくことができる	就労を見据え、必要なスキルが身に付けられるよう作業訓練だけでなく、指示を正しく理解すること、報告をすることなどに日頃から取り組んでもらっている	職員の求人を行い人数を増やすことで、よりきめ細かな支援ができるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方を招くような行事がないため、地域との関わりが少ない	地域の方との事業所内で交流することは、特に重度の利用者の方にとっては大きな負担となるため、機会をつくるのが難しい	招くことは難しいが、外での交流は負担が少ない為、地域の行事に少しでも参加ができないか検討をしていく。また、日頃から職員が地域とのかかわりを積極的に持つようしていく
2	ホームページの活用がうまくできていない	更新頻度が低く、最新の情報の発信ができていない	更新する曜日等を決める。利用されている方、利用を検討している方に事業所の取り組みを知っていただけるようわかりやすく掲載をしていく。また発信した情報をみていただけるよう周知もしていく
3			